

食品安全委員会セミナー 「ビスフェノールAに関する 国際セミナー」報告

2014年6月19日、海外から専門家を招き、
ビスフェノールAに関する国際セミナーを開催しました。

ビスフェノールAは、一般に合成樹脂といわれているポリカーボネート樹脂やエポキシ樹脂などの原料として使用されている物質です。これらの樹脂で作られた容器などにはごく微量のビスフェノールAが含まれ、容器などの内容物に溶出する可能性があるため、溶出試験規格が定められています。

ビスフェノールAは、内分泌系への影響があると疑われる化学物質として社会的に関心もたれており、食品安全委員会器具・容器包装専門調査会は、2010年7月に中間とり

まとめを発表しました。また、欧州食品安全機関(EFSA)でも、現在ビスフェノールAの再評価を行っています。

そこで、その中間とりまとめに携わった専門家、EFSA及び米国食品医薬品庁(FDA)の専門家を招き、6月19日(木)に、日本学術会議講堂で、セミナーを開催しました。

セミナーでは、国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センターの広瀬明彦総合評価研究室長が「日本におけるビスフェノールAの健康影響評価」について、



▲ 講演中の会場風景。

EFSAのカストルディ博士(Dr. Anna Federica Castoldi)が「ビスフェノールAに関するEFSAの科学的意見書案」について、FDAのドアーヂ博士(Dr. Daniel Robert Doerge)が「米国食品医薬品庁/国立毒性研究センターで実施されたビスフェノールAに関する研究」について、それぞれ講演を行いました。

当日は約200名の方々が参加され、最新の研究状況などに関するご質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。

なお、セミナーで使用したスライドなどの資料は左記URLでご覧いただけます。



ビスフェノールAに関する国際セミナーについて

<http://www.fsc.go.jp/fsciis/meetingMaterial/show/kai20140619ik1>

食品安全モニター会議

2014年度の食品安全モニター会議を
全国6か所で開催しました。

全国6か所でモニター会議を開催

食品安全モニターは、食品安全委員会が行うリスク評価や、リスク管理機関が行うリスク管理施策の実施状況に対して、意見や情報等を寄せていただく方々です。食品安全に関する一定の知識や職務経験、資格などを持った方を全国で470名、任期1年でお願いしています。モニター会議は、これらの方々に、食品安全委員会やモニター活動などに

ついて理解を深めていただくための研修として開催しており、本年は5月28日の東京を皮切りに、全国6か所で9回開催しました。

委員からの特別講演や活発な意見交換の場

会議の前半では、食品安全委員会委員からの特別講演のほか、事務局からリスク分析の考え方について説明が行われました。さらに、食品安全モニターの役割及び活動内容、活動の際の留意事項などについても説明がありました。



引き続き後半は、モニターの方々がグループに分かれ、前半の委員講演の内容等を、周りの人にどのように伝えるかについて話し合いが行われました。まとめた内容はグループごとに発表し、発表終了後は、委員からの講評が行われました。

各モニターの専門知識や経験等の視点から、情報を伝えるためのアイデアなどについて活発な意見が交わされ、充実した会議となりました。



食品安全モニターについて

<http://www.fsc.go.jp/monitor/>